



---

# MINATOビジョン策定に向けた 区民等意識調査報告書（在勤・在学者）

---

**Citizens Awareness Survey Report  
on the attitudes toward formulating the MINATO Vision**

令和7（2025）年8月

港 区



## 港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つこどもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区



## 目 次

第1章 調査概要.....	2
(1) 調査名称.....	2
(2) 調査目的.....	2
(3) 調査対象.....	2
(4) 調査期間.....	2
(5) 回収数.....	2
(6) 報告書における図表の見方.....	3
第2章 設問と集計結果.....	4
付録 調査票.....	103

## 第1章 調査概要

---

### (1) 調査名称

MINATOビジョン策定に向けた区民等意識調査（在勤・在学者）

### (2) 調査目的

現行の港区基本構想は平成14年に策定されたが、目標年次である10年ないし15年後を既に経過していることを踏まえて見直す必要がある。港区基本計画の計画期間の終期である令和9年4月から開始できるよう、これまで別冊であった港区基本構想と港区基本計画・港区実施計画を統合し、新たな総合計画としてMINATOビジョン（以下「ビジョン」という。）を策定する。

ビジョンの策定に当たり、区民等の思い描く区の将来イメージや区に対する思いなどについて把握することで、ビジョン策定に向けた基礎資料とすることを目的として区民等意識調査を実施した。

### (3) 調査対象と調査方法

令和7年1月1日現在、18歳以上の港区内在勤者・在学者400人に対してWebで調査・回答。

ただし、調査対象者には区内在住者は含まない。

### (4) 調査期間

令和7年5月26日（月）～6月10日（火）

### (5) 回収数

配付数	有効回答数	有効回答率
400 件	400 件	100%

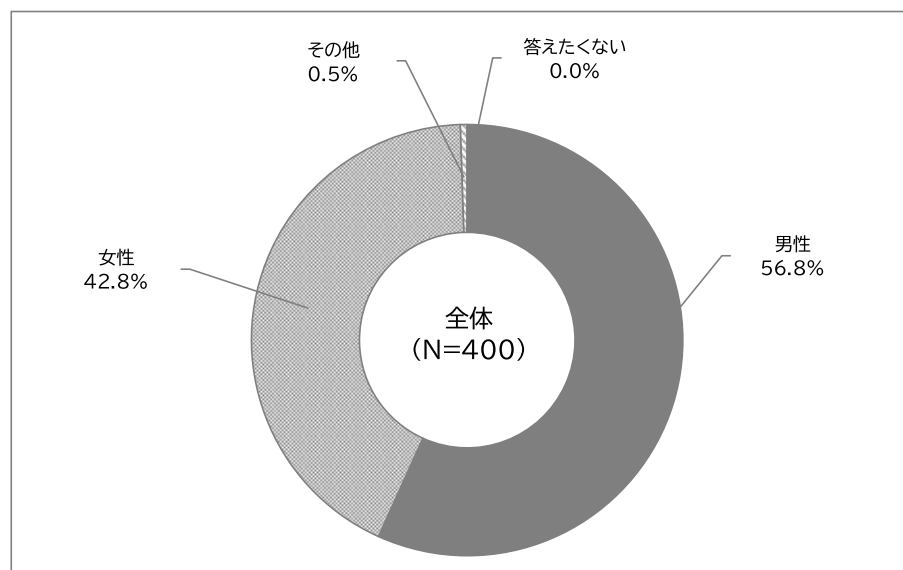
## (6) 報告書における図表の見方

- ア 図表内の「N」は、設問の要回答者数である。
- イ 集計は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。そのため比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ウ 複数の選択肢を選べる設問では、その設問の要回答者数を分母として、選択肢ごとの回答者数の割合を表示している。

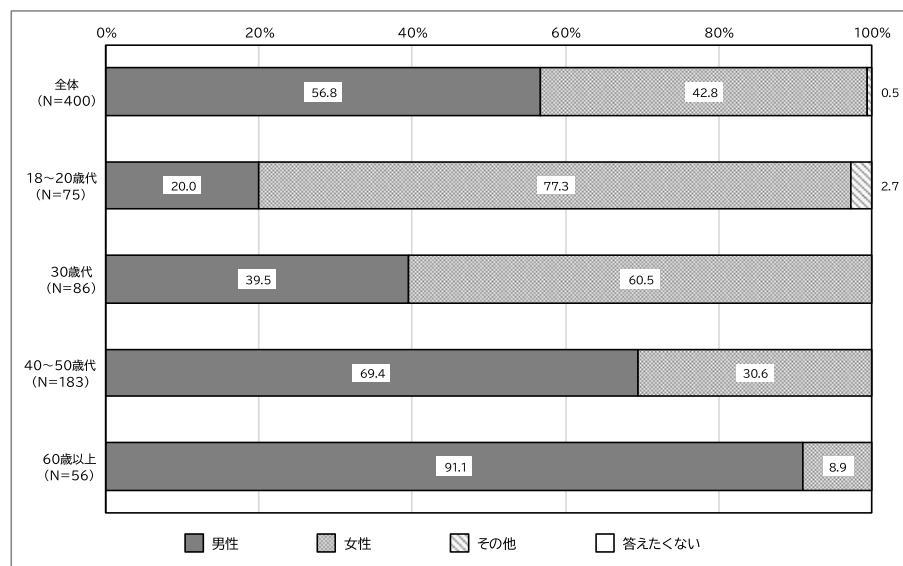
## 第2章 設問と集計結果

■問1. あなたの性別はどれにあてはまりますか。

「男性」が5割台後半、「女性」が4割台前半となっており、男性の回答者が過半数となっている。



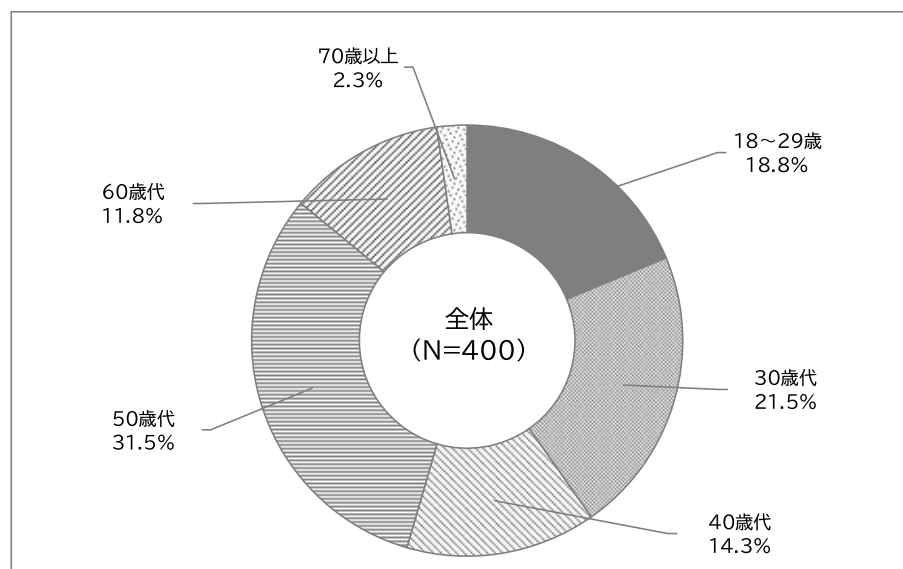
(参考：年代別クロス集計)





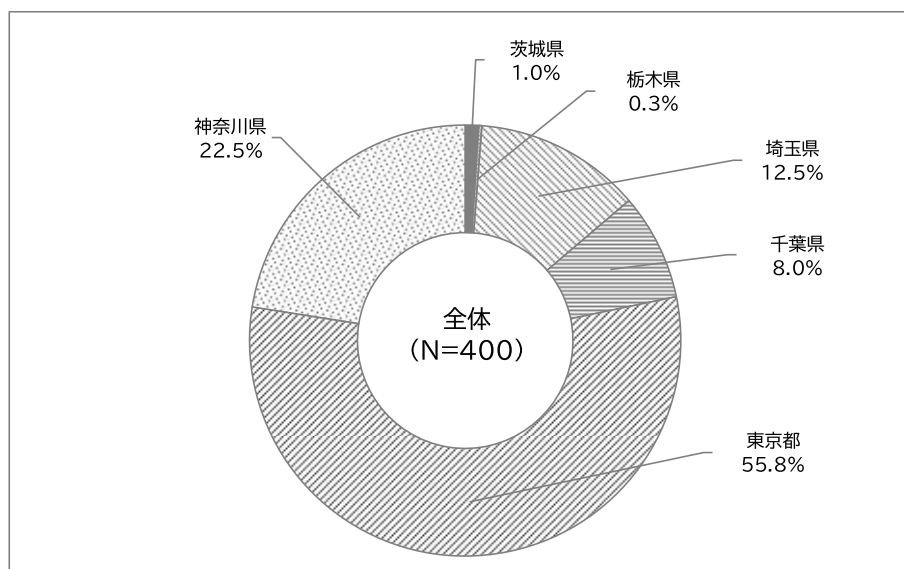
■問2. あなたの年齢（満年齢）はどれにあてはまりますか。

「50 歳代」が最多で3割台前半、次いで「30 歳代」が2割台前半、「18～29 歳」が約2割と続いている。

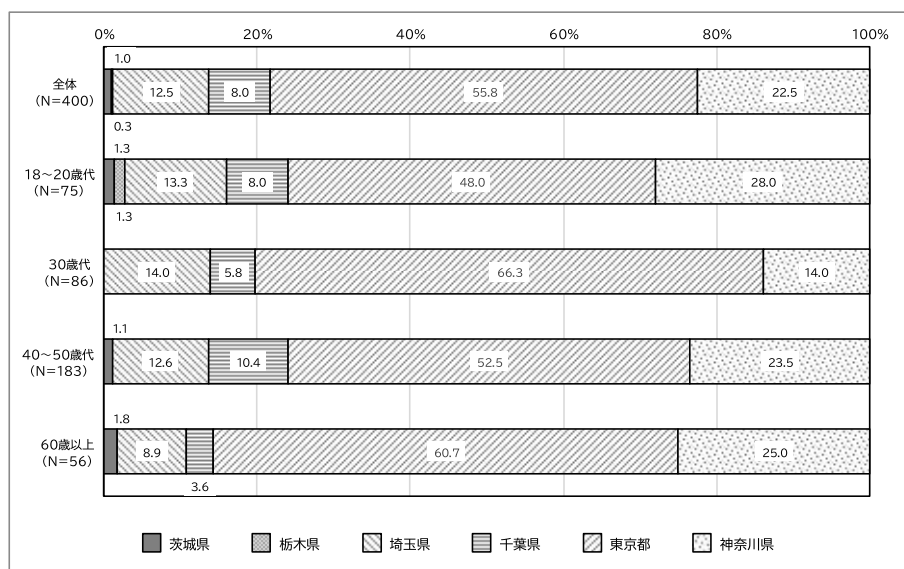


■問3. あなたが現在お住まいになっている地域についてお知らせください。

「東京都」が最多で5割台半ば、次いで「神奈川県」が2割台前半、「埼玉県」が1割台前半と続いている。

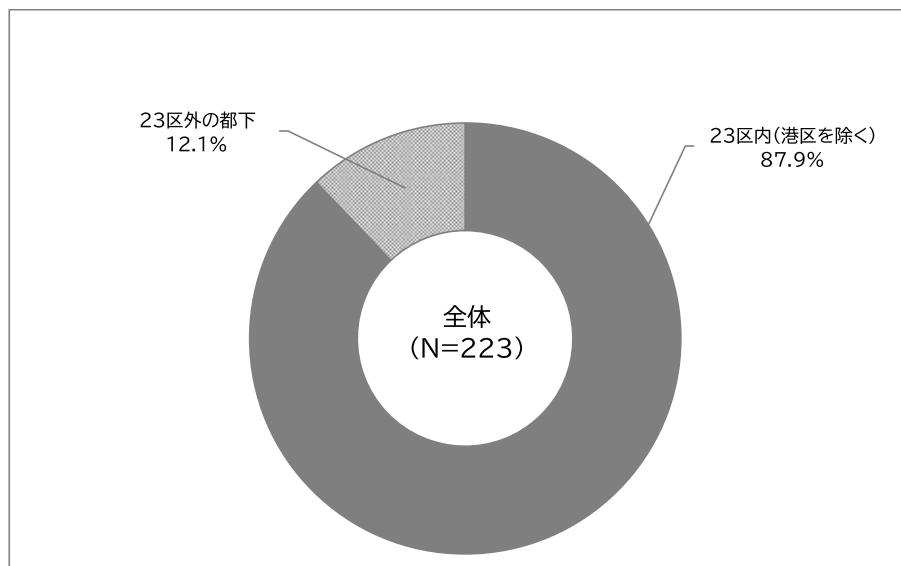


(参考：年代別クロス集計)

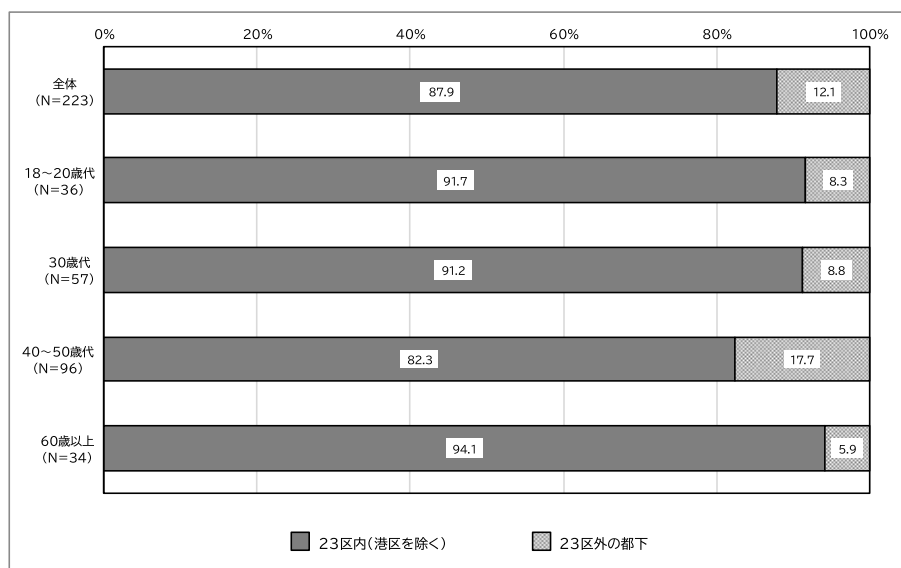


■問4. あなたが現在お住まいになっている居住地域（市区町村）についてお知らせください。

東京都内在住の回答者（223 件）に居住している市区町村を尋ねたところ、「23 区内（港区を除く）」が8割台後半、「23 区外」が1割台前半の回答となっている。

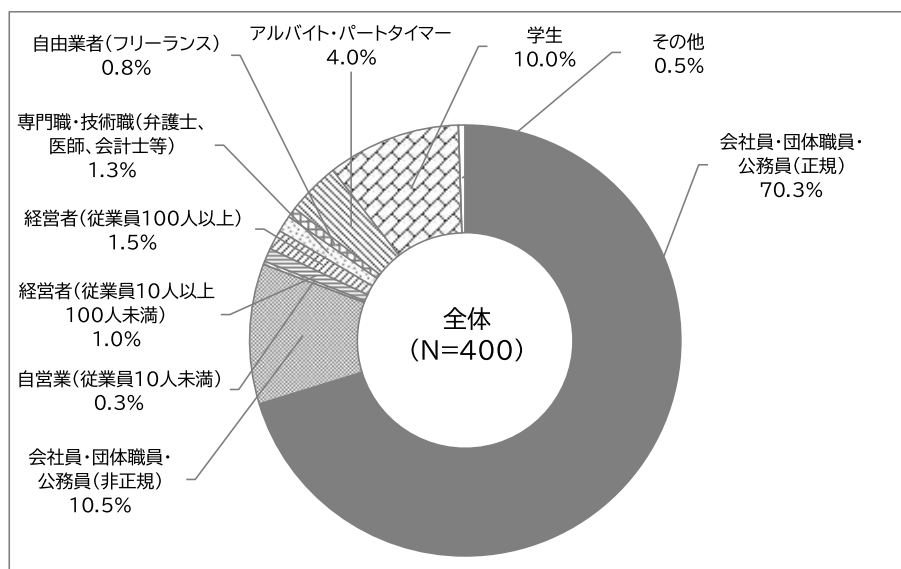


（参考：年代別クロス集計）

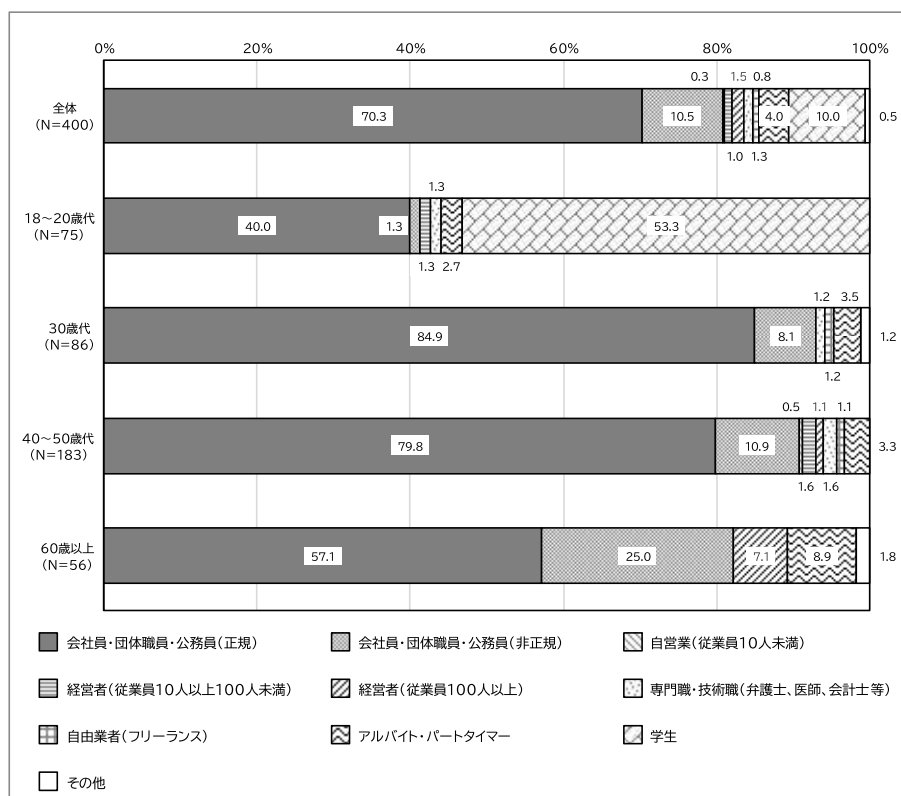


■問5. あなたのご職業は次のどれにあてはまりますか。

「会社員・団体職員・公務員（正規）」が最多で約7割、次いで「会社員・団体職員・公務員（非正規）」「学生」が約1割と続いている。

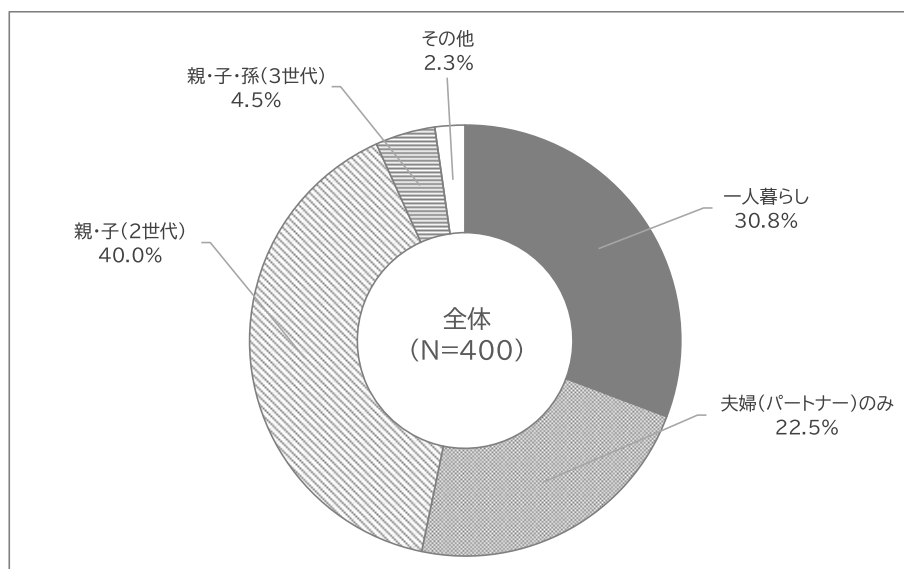


(参考：年代別クロス集計)

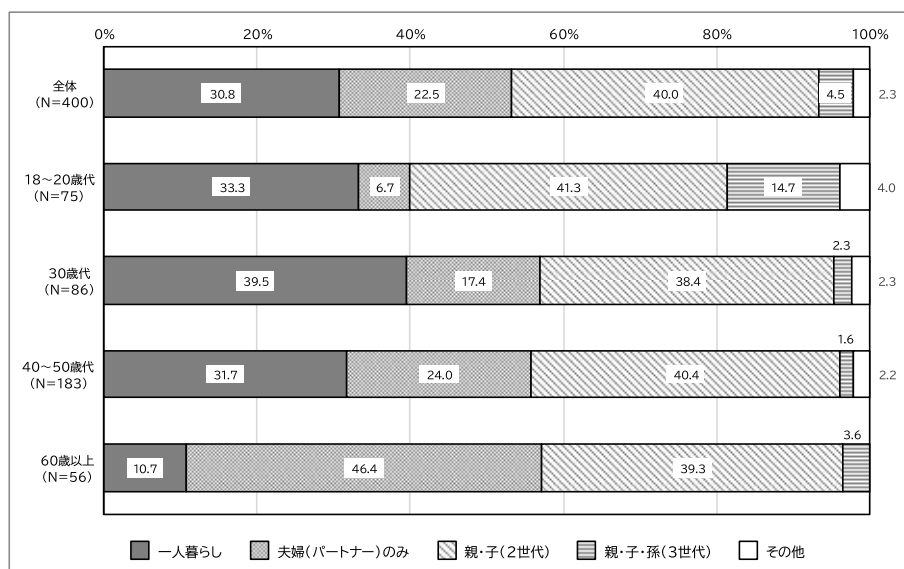


■問6. あなたの家族構成は次のどれにあてはまりますか。

「親・子（2世代）」が最多で約4割、次いで「一人暮らし」が約3割、「夫婦（パートナー）のみ」が2割台前半と続いている。

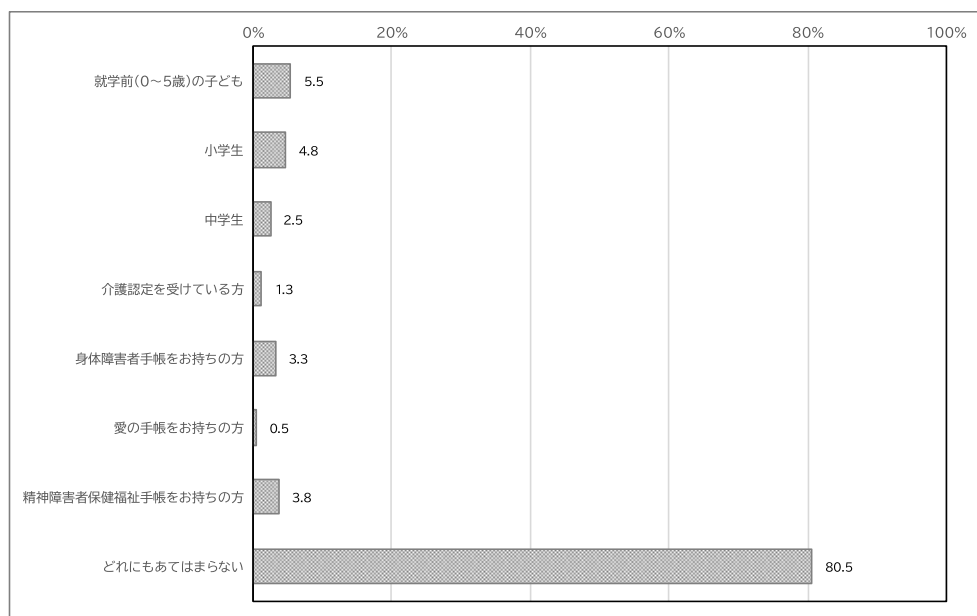


(参考：年代別クロス集計)

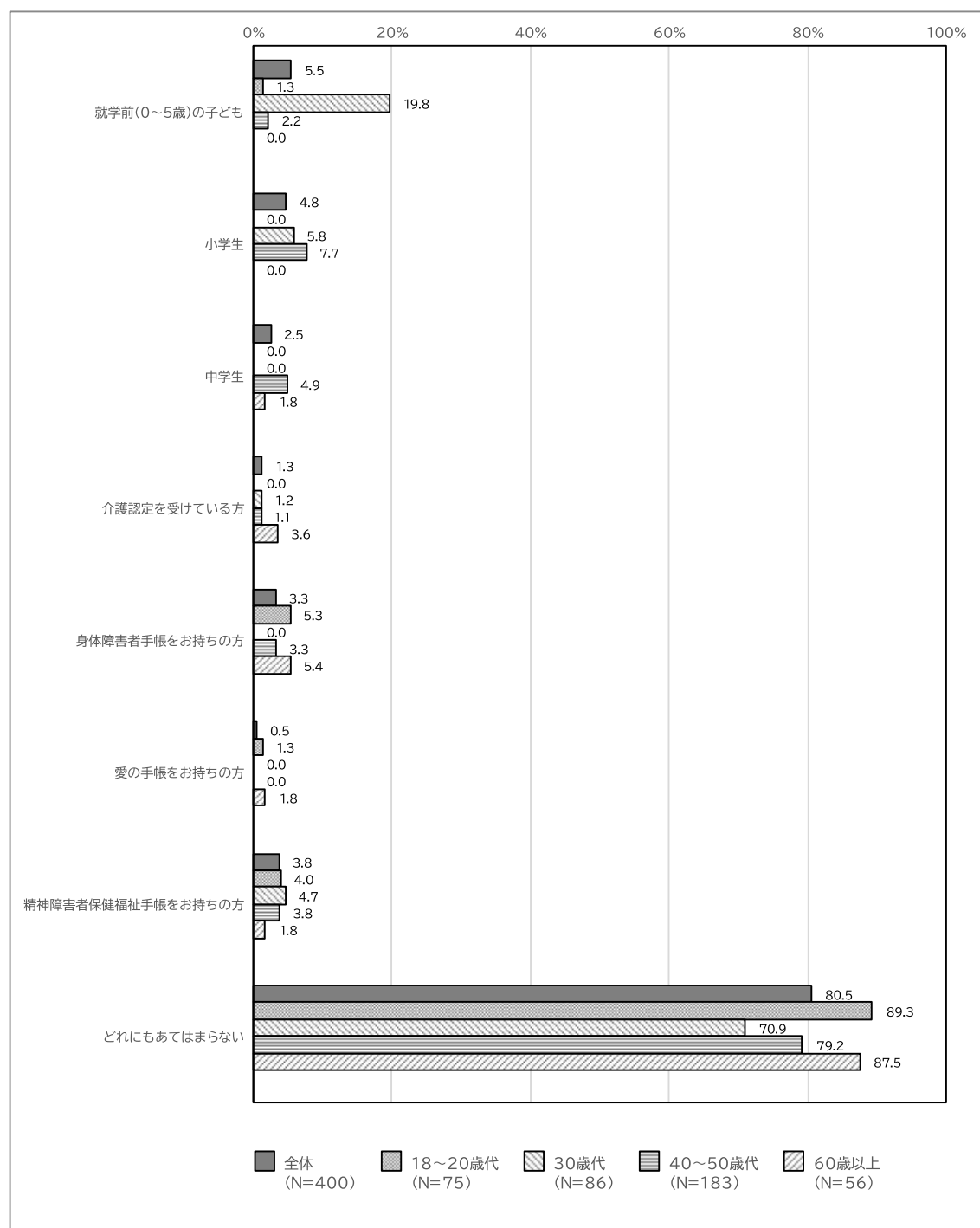


■問7. あなた自身、もしくはあなたの同居家族に次の方はいますか。（複数回答可）

それぞれの回答は1割未満で、「どれにもあてはまらない」が約8割であった。

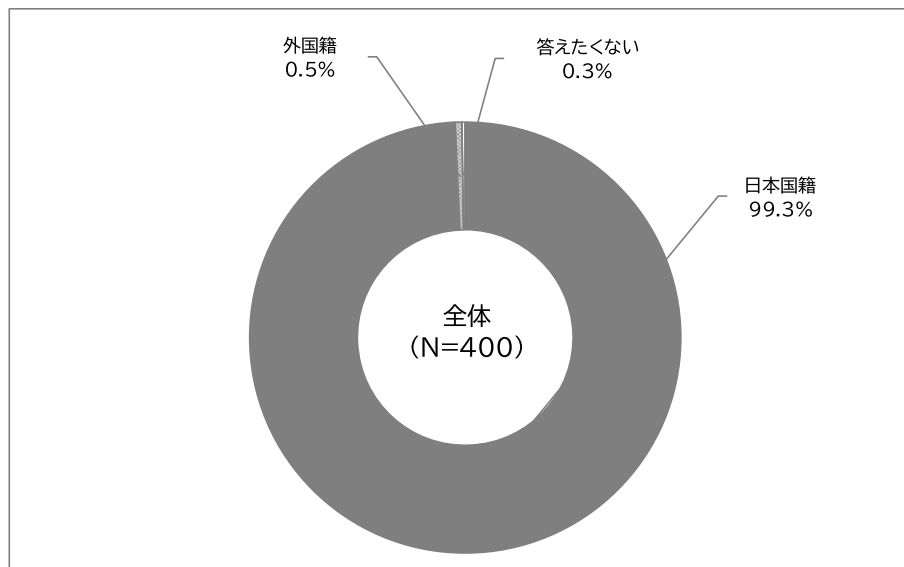


(参考：年代別クロス集計)

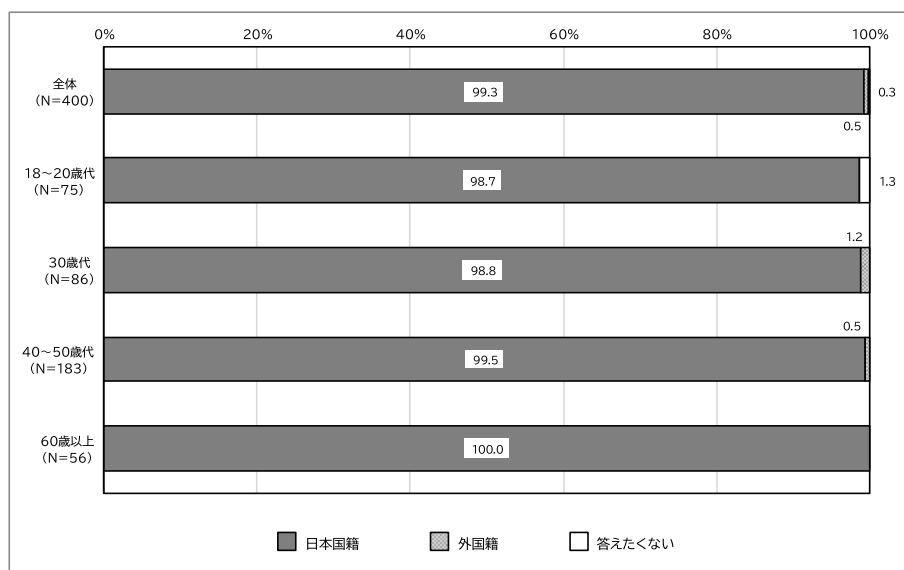


■問8. あなたの国籍はどちらですか。

「日本国籍」が9割台後半、「外国籍」が1割未満であった。



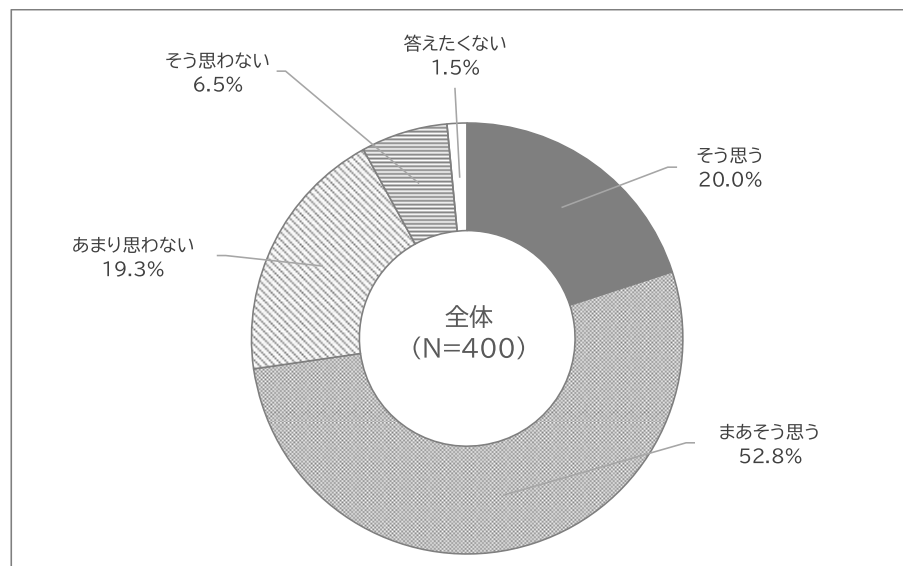
(参考：年代別クロス集計)



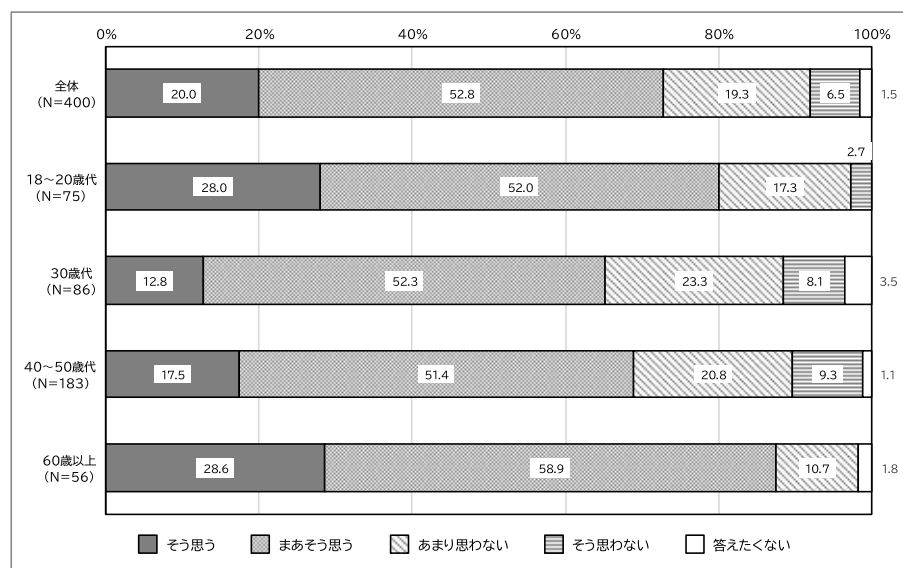


■問9. 港区のことを好きですか。

港区のことを好き（「そう思う」と「まあそう思う」の合計）は7割台前半、港区のことを好きではない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）は2割台半ばであった。

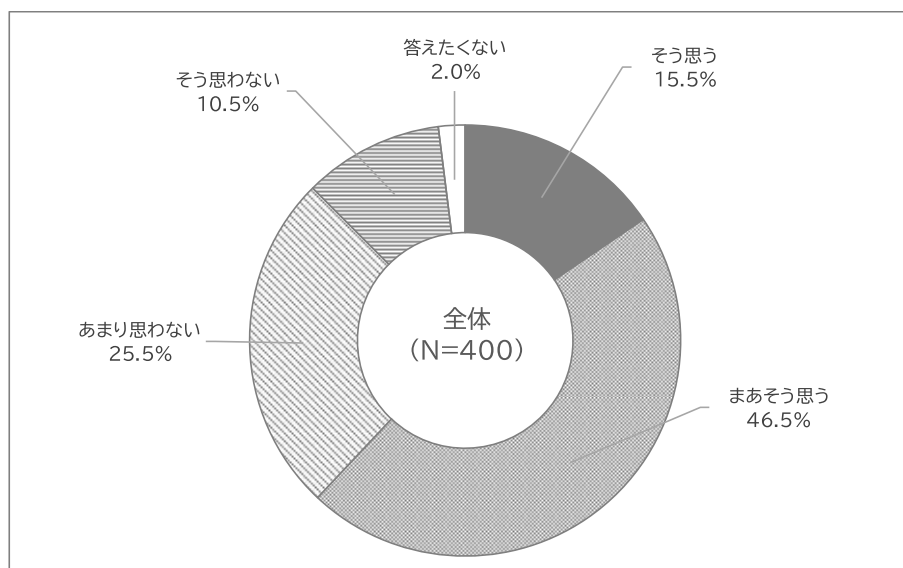


(参考：年代別クロス集計)

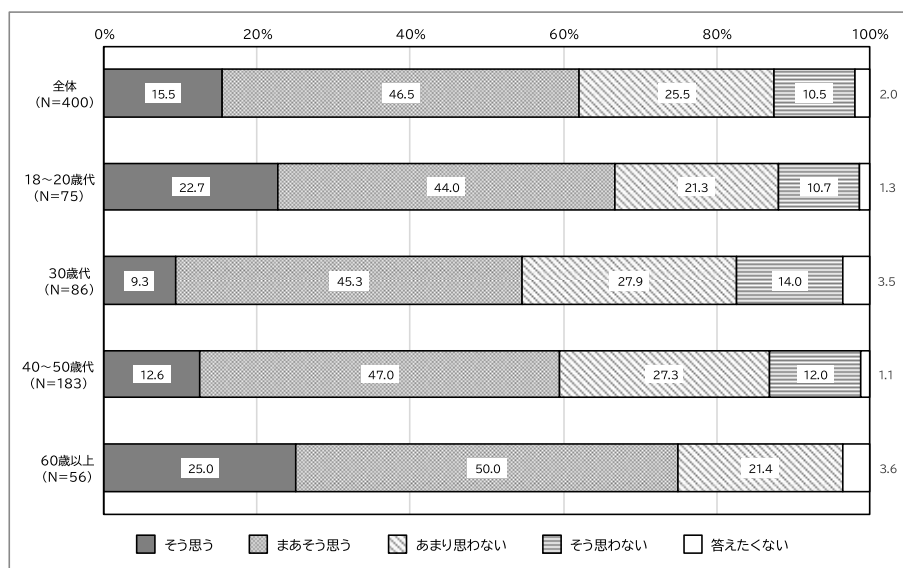


■問 10. 港区で働くこと・学ぶことが幸せだと感じていますか。

港区で働くこと・学ぶことが幸せだと感じる（「そう思う」と「まあそう思う」の合計）は6割台前半、港区で働くこと・学ぶことが幸せだと感じない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）は3割台半ばであった。

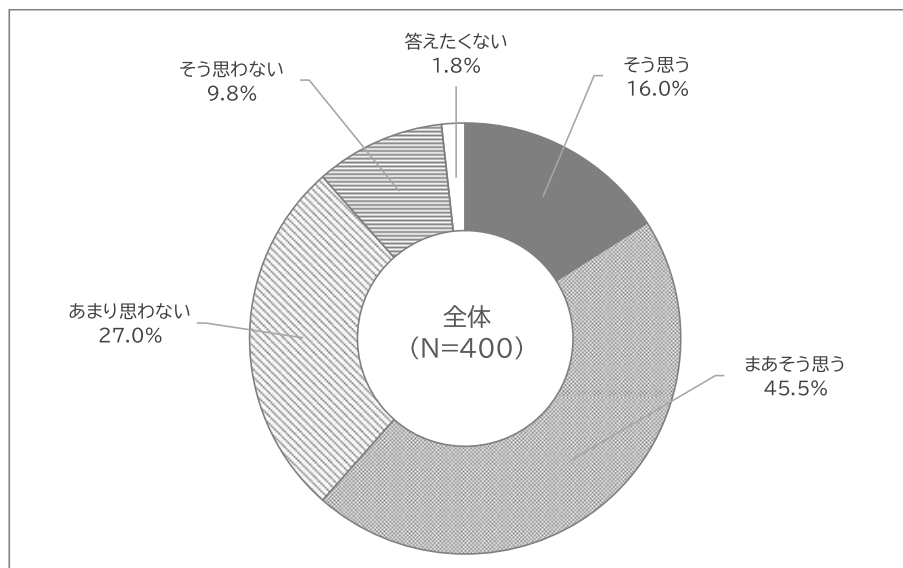


（参考：年代別クロス集計）

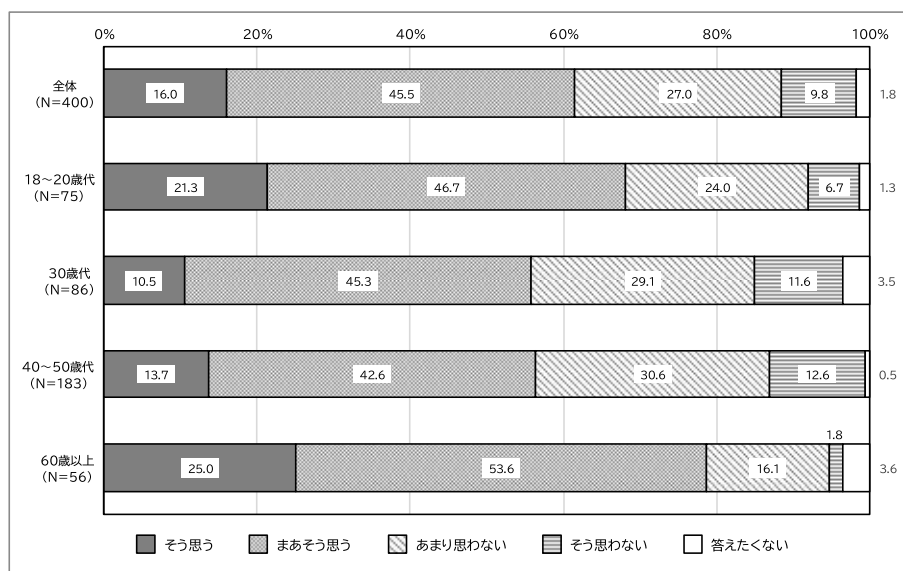


■問 11. 港区で働くこと・学ぶことが好きだと感じていますか。

港区で働くこと・学ぶことが好き（「そう思う」と「まあそう思う」の合計）は6割台前半、港区で働くこと・学ぶことが好きではない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）は3割台後半であった。

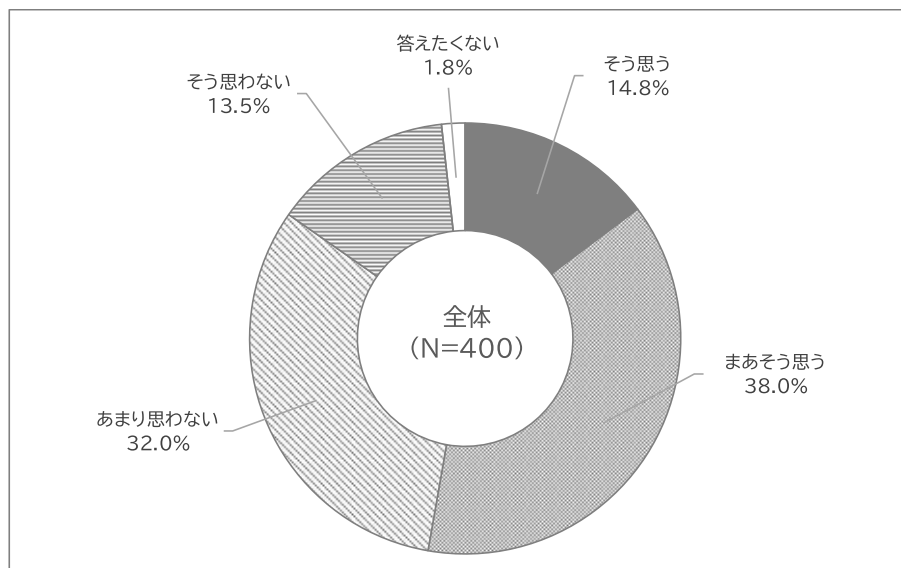


（参考：年代別クロス集計）

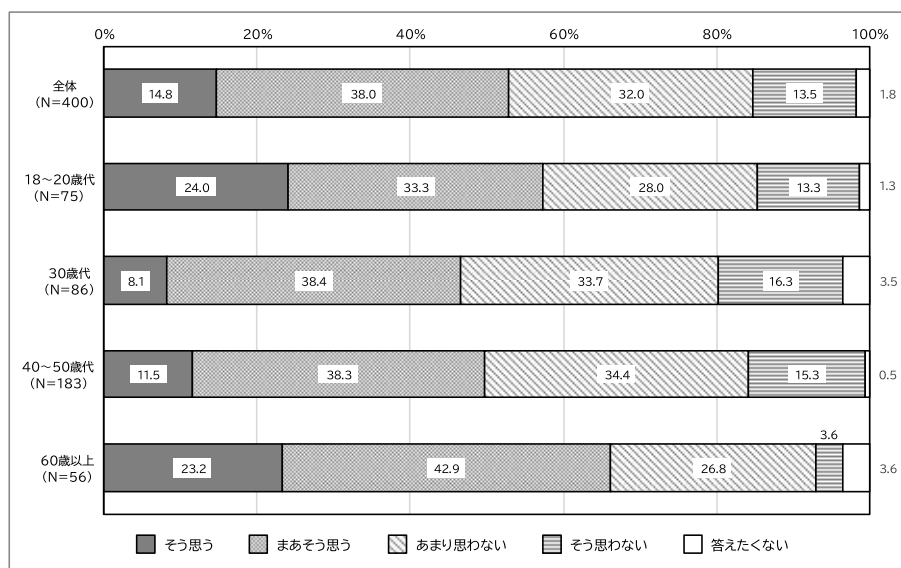


■問 12. 港区で働くこと・学ぶことに愛着を感じますか。

港区で働くこと・学ぶことに愛着を感じる（「そう思う」と「まあそう思う」の合計）は5割台前半で、港区で働くこと・学ぶことに愛着を感じない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）は4割台半ばであった。

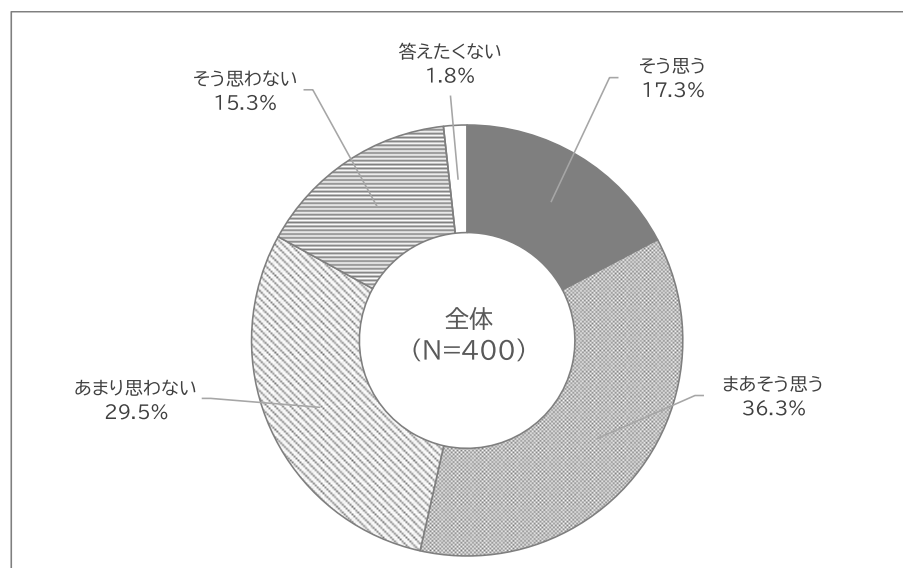


(参考：年代別クロス集計)

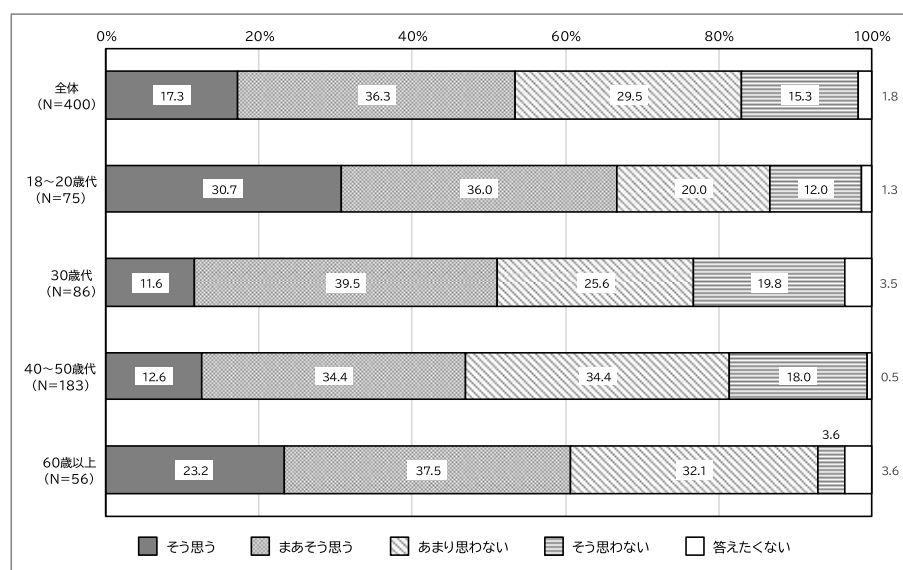


■問 13. 港区で働くこと・学ぶことを誇りに思いますか。

港区で働くこと・学ぶことを誇りに思う（「そう思う」と「まあそう思う」の合計）は5割台半ば、港区で働くこと・学ぶことを誇りに思わない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）は4割台半ばであった。

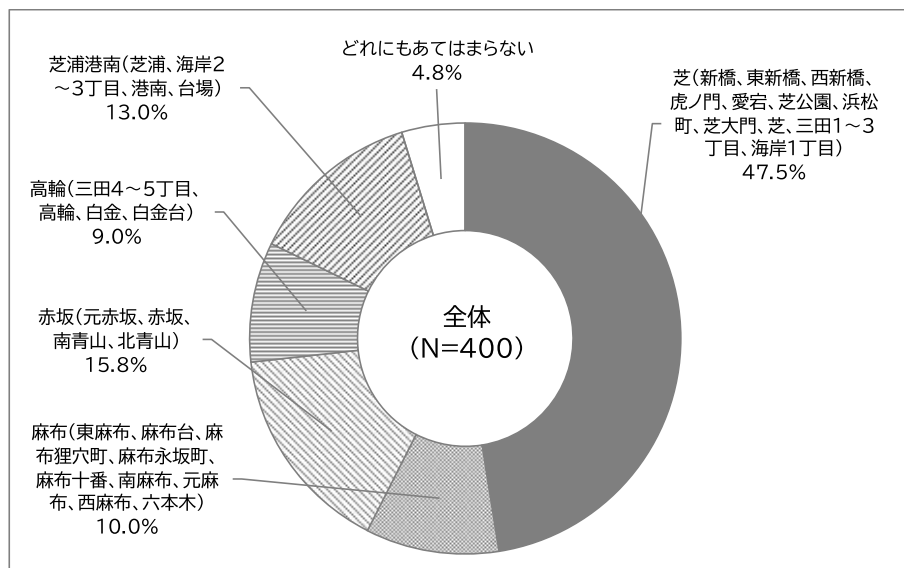


(参考：年代別クロス集計)

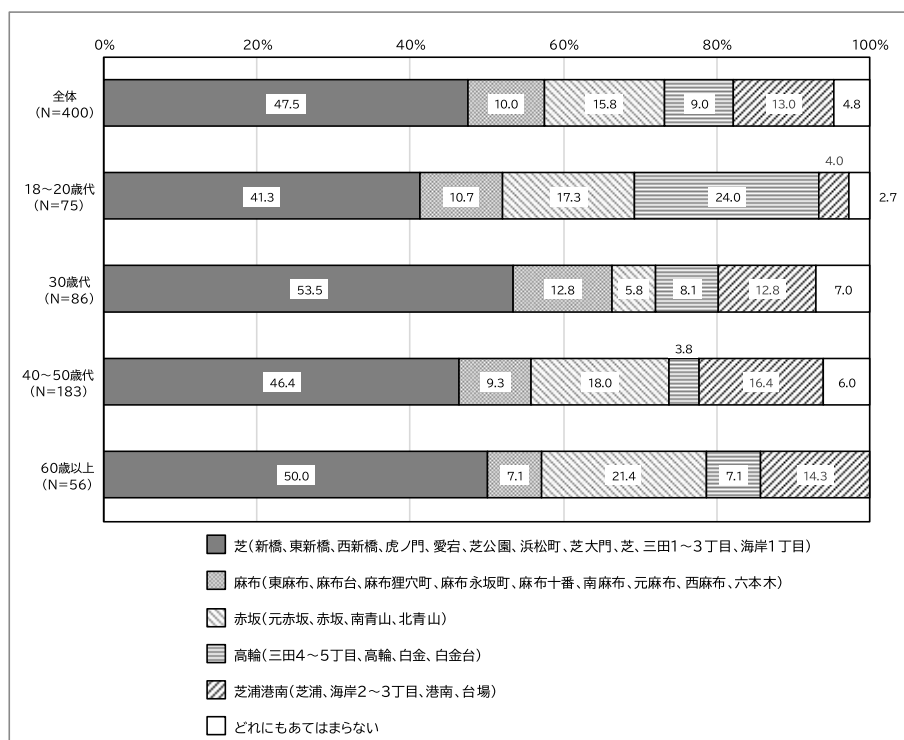


■問 14. 現在就業している事業所、就学している学校の場所は次のどれにあてはまりますか。

「芝（新橋、東新橋、西新橋、虎ノ門、愛宕、芝公園、浜松町、芝大門、芝、三田1～3丁目、海岸1丁目）」が最多で4割台後半となっている。

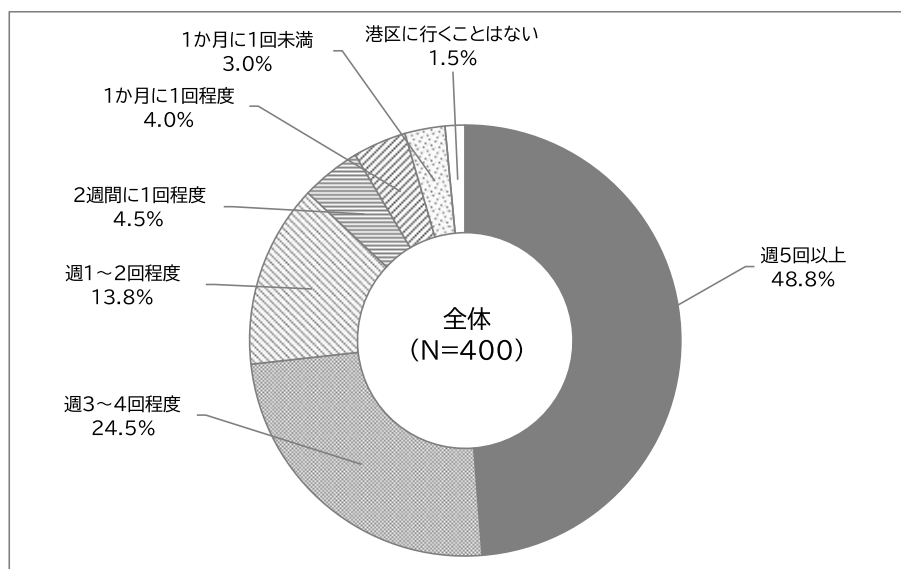


(参考：年代別クロス集計)

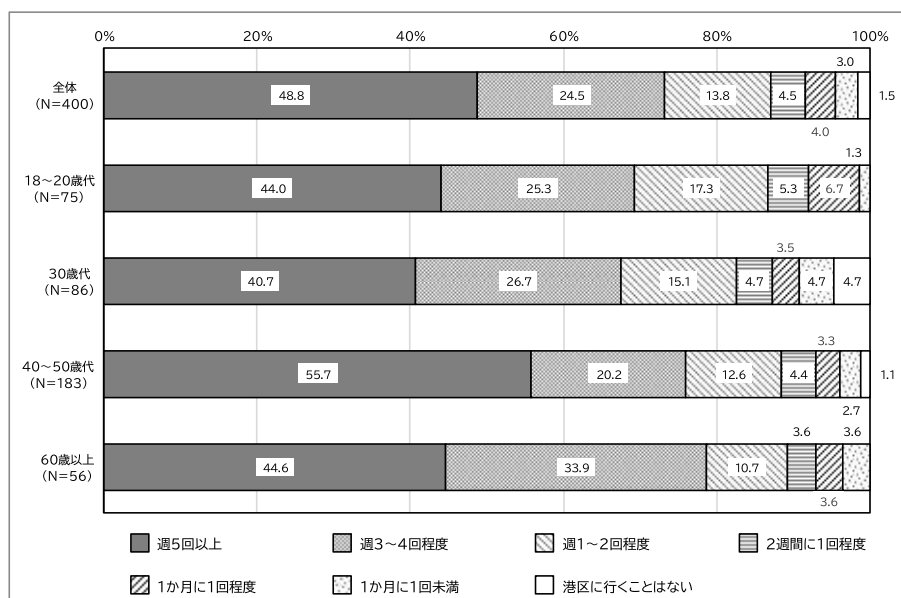


■問 15. おおよそどの程度の頻度で港区に訪れますか。

「週5回以上」が最多で約5割、次いで「週3～4回程度」が2割台半ば、「週1～2回程度」が1割台半ばと続いている。

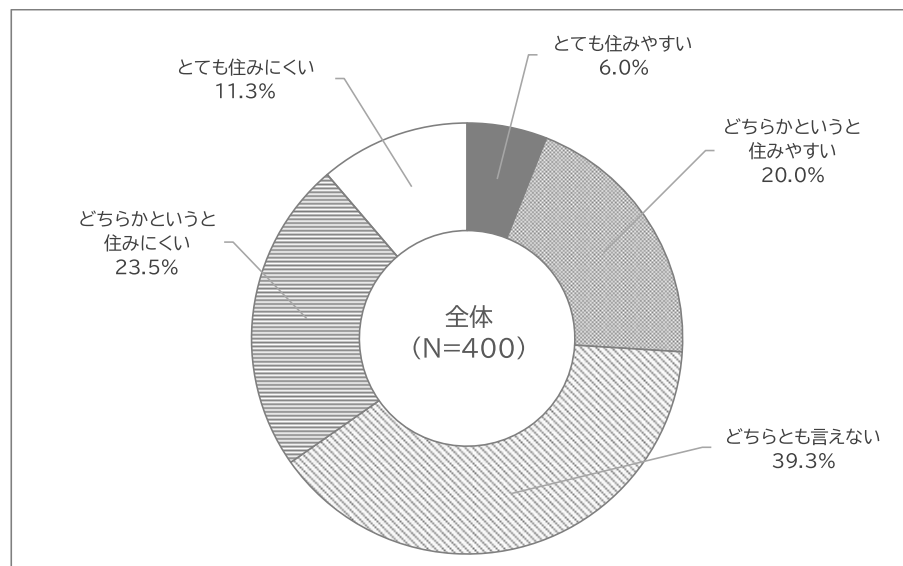


(参考：年代別クロス集計)

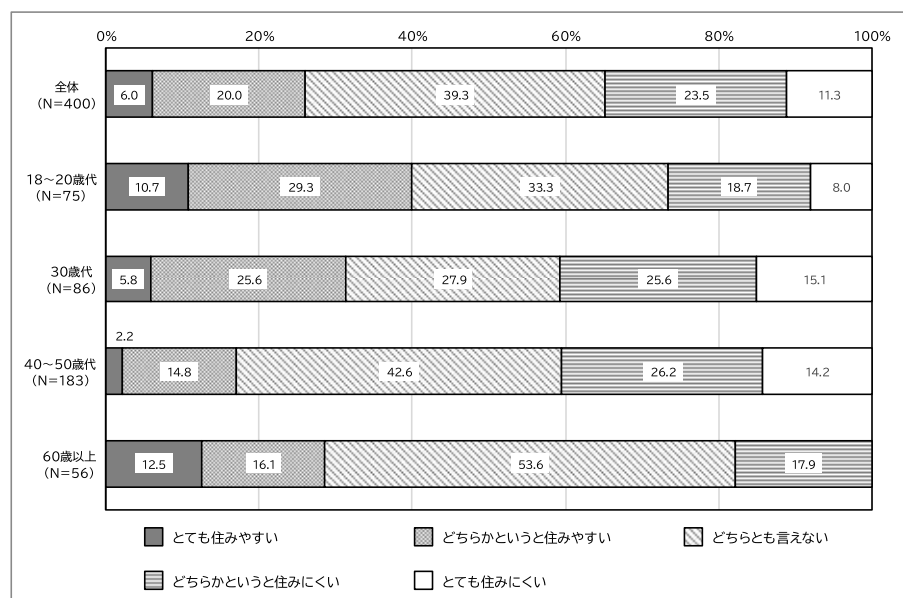


■問 16. 港区は住みやすい地域だと思いますか？

住みやすい（「とても住みやすい」と「どちらかというに住みやすい」の合計）は2割台半ば、住みにくい（「とても住みにくい」と「どちらかというに住みにくい」の合計）は3割台半ば、「どちらともいえない」は約4割であった。



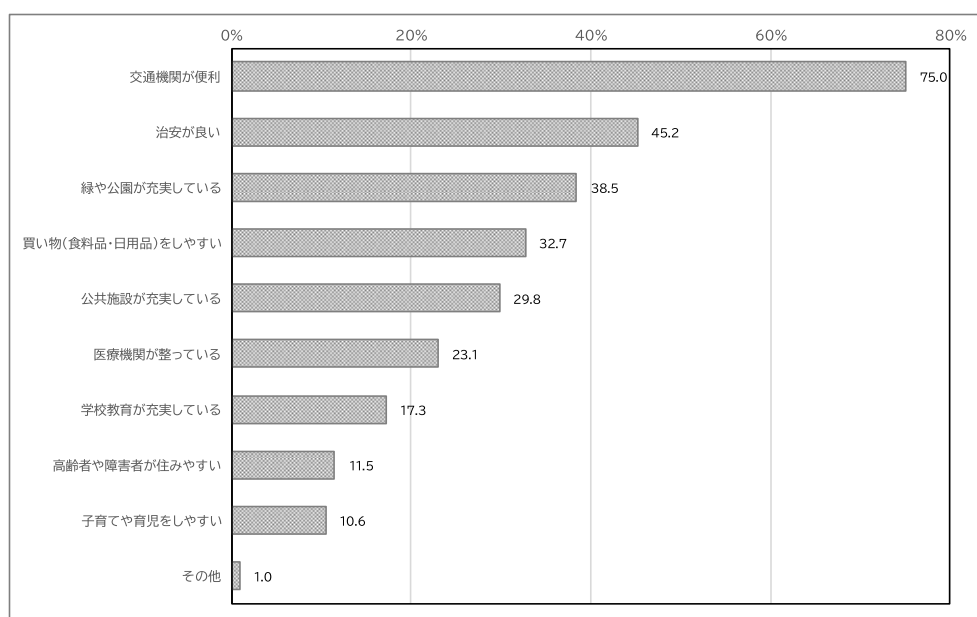
（参考：年代別クロス集計）



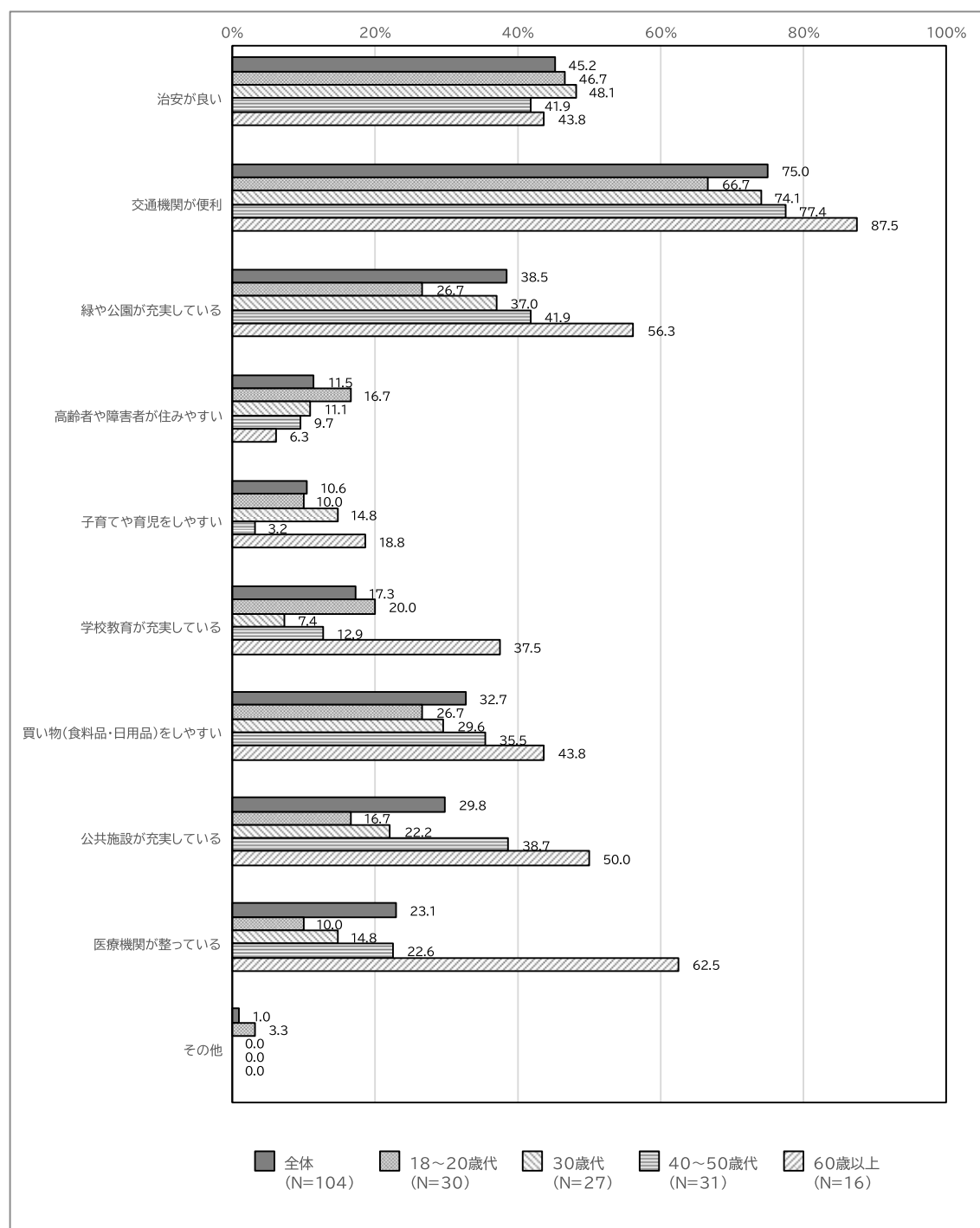


■問 17-1. 住みやすい理由を選んでください。（複数回答可）

【問 16】で「とても住みやすい」と「どちらかというに住みやすい」の回答者（104件）に対してその理由を選択肢の中から選ぶ形で聞いたところ、「交通機関が便利」が最多で7割台半ば、次いで「治安が良い」が4割台半ば、「緑や公園が充実している」が約4割と続いている。他に3割台前半が「買い物（食料品・日用品）をしやすい」、約3割が「公共施設が充実している」、2割台前半が「医療機関が整っている」と回答している。



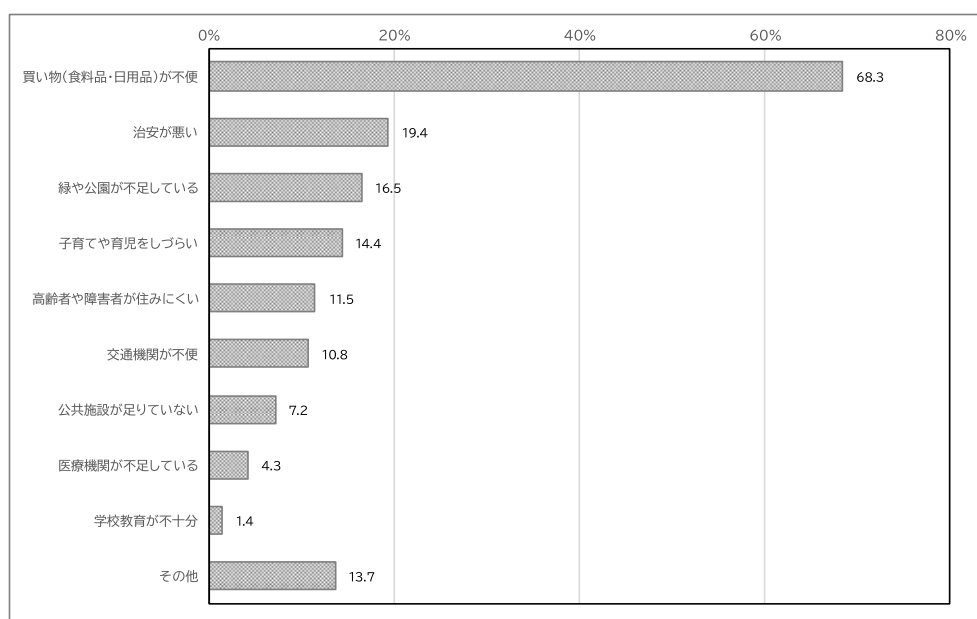
(参考：年代別クロス集計)



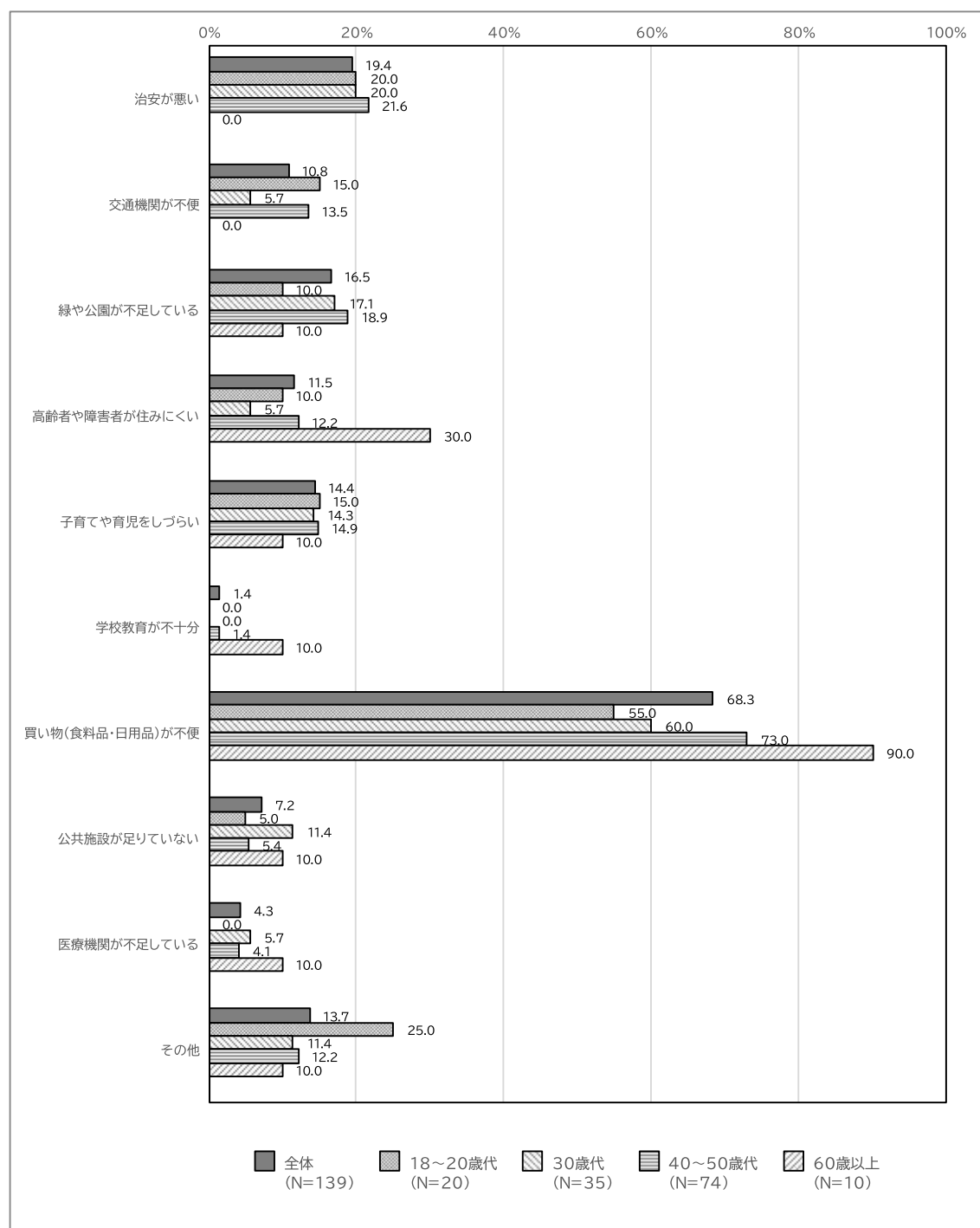
■問 17-2. 住みにくい理由を選んでください。（複数回答可）

【問 16】で「とても住みにくい」と「どちらかというと住みにくい」の回答者（139 件）に対して選択肢の中から選ぶ形でその理由を聞いたところ、「買い物（食料品・日用品）が不便」が最多で6割台後半、次いで「治安が悪い」が約2割、「緑や公園が不足している」が1割台後半、「子育てや育児をしづらい」が1割台半ばと続いている。

「その他」としては、「物価・家賃が高い」というものが大半だった。



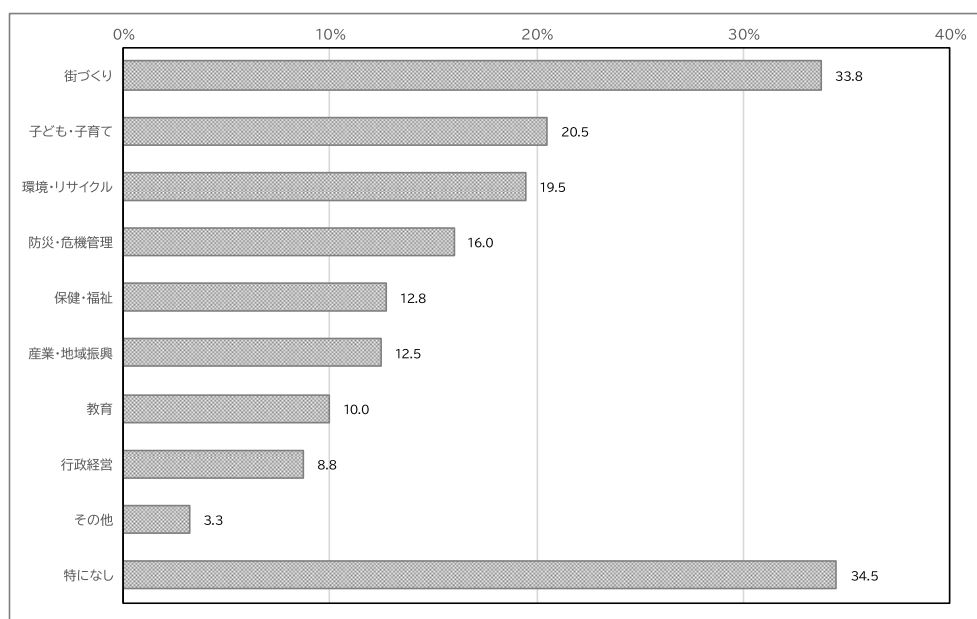
(参考：年代別クロス集計)



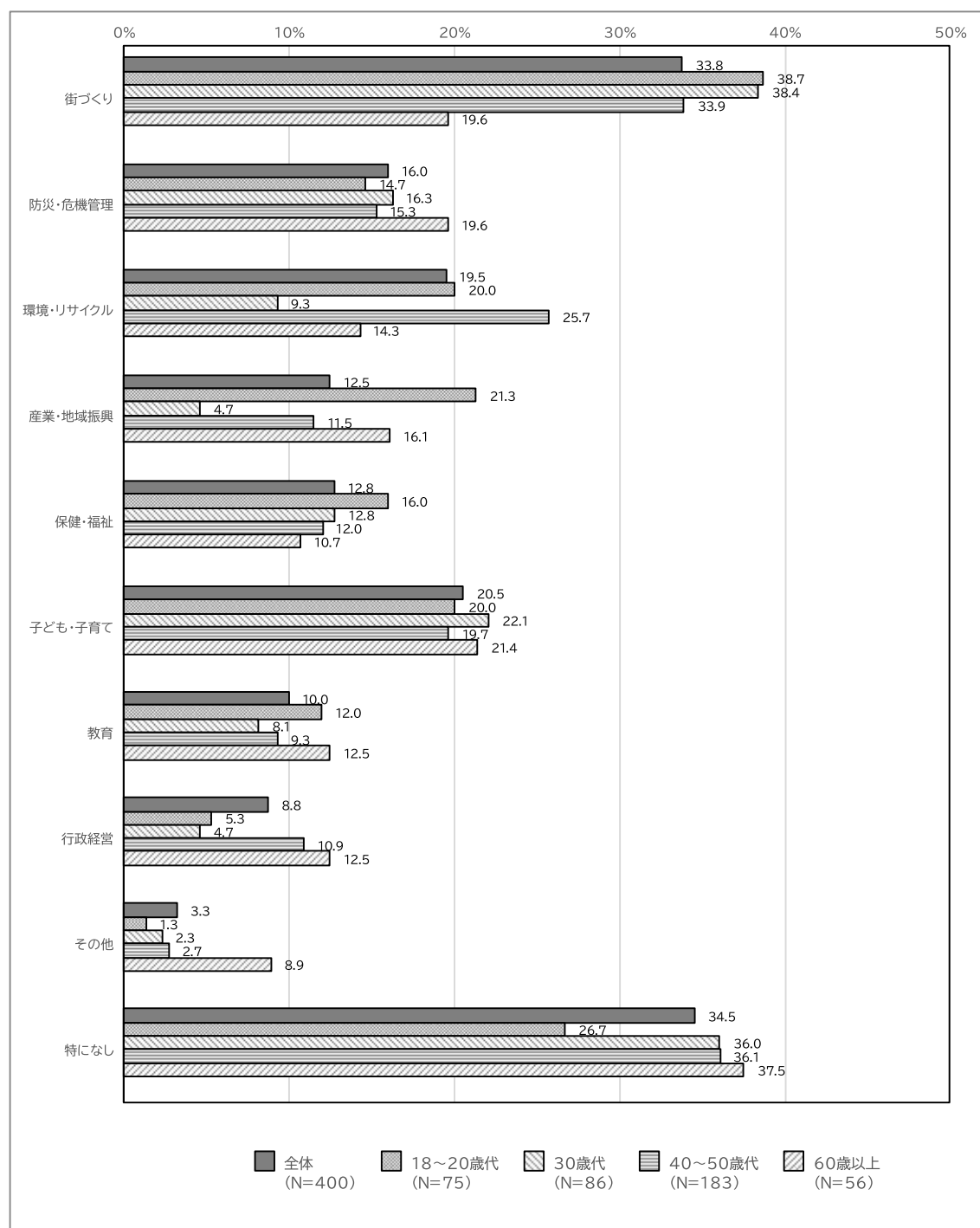
■問 18. あなたのお住まいの自治体と港区を比較して、お住まいの自治体の方が優れていると感じる点をお答えください。（複数回答可）

「街づくり」が最多で3割台半ば、次いで、約2割が「子ども・子育て」「環境・リサイクル」と回答した。また「特になし」は3割台半ばであった。

「その他」としては、「物価・賃料が安い」「買い物がしやすい」「緑・自然が豊か」があった。



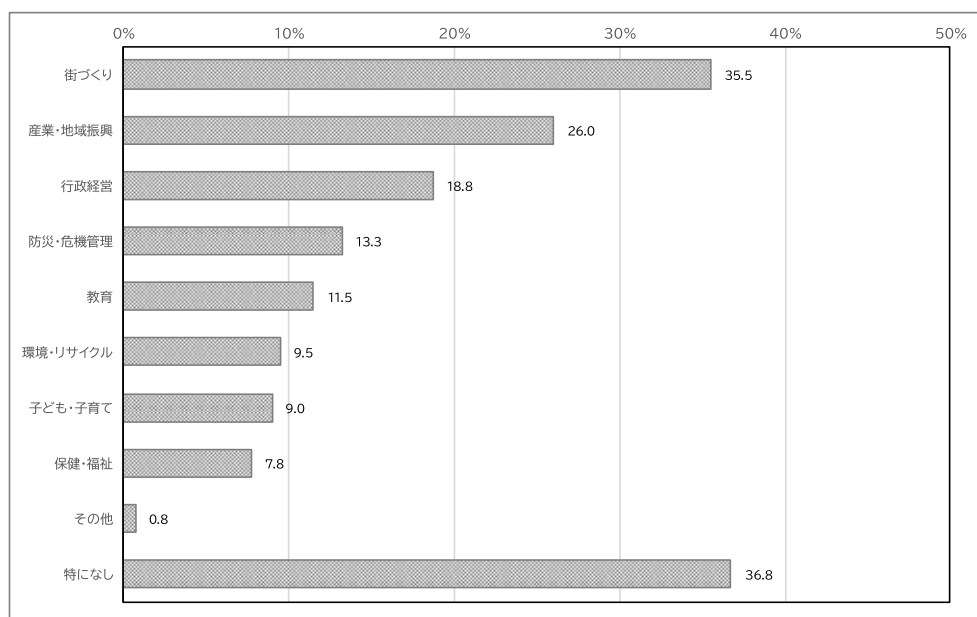
(参考：年代別クロス集計)



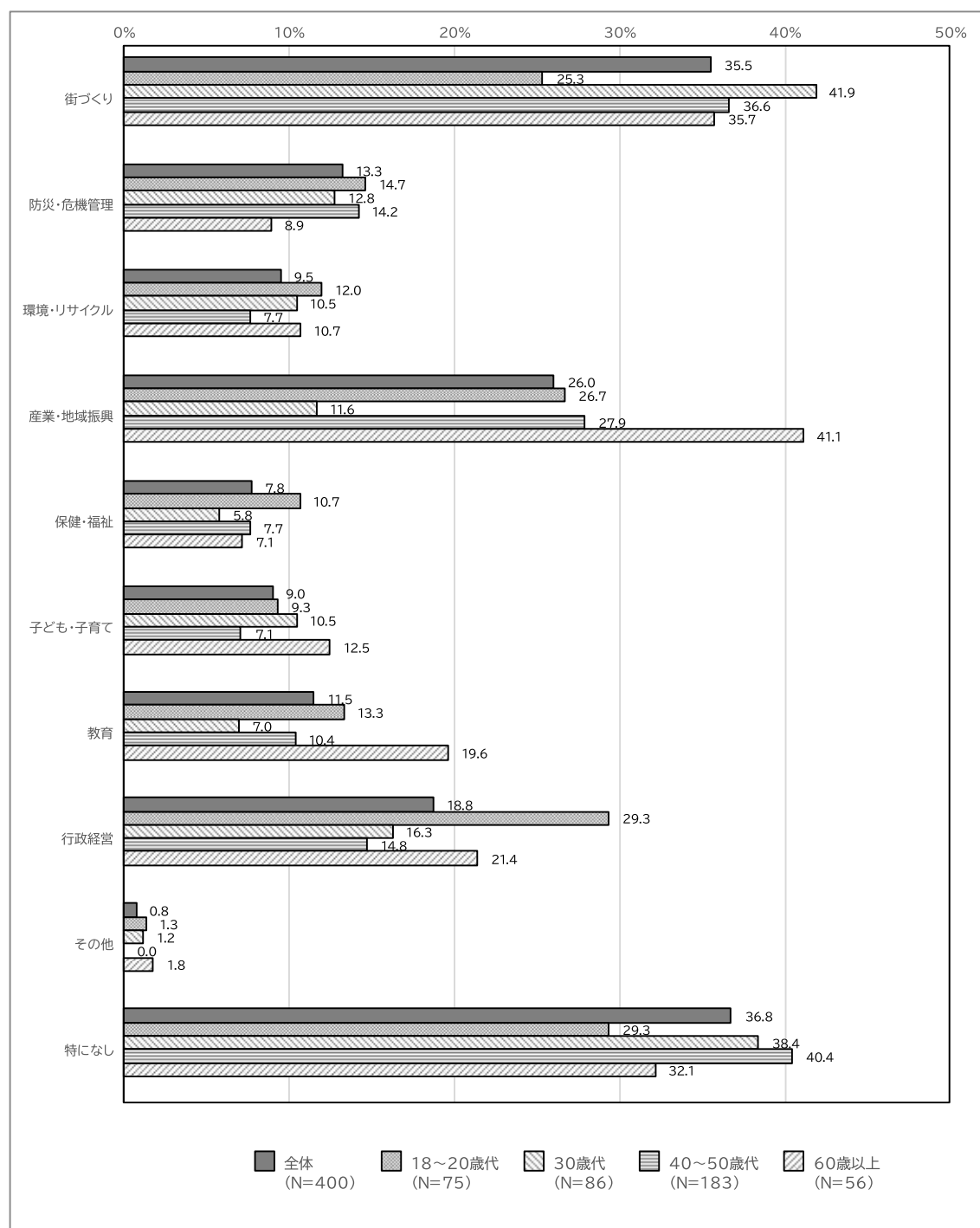
■問 19. あなたのお住まいの自治体と港区を比較して、港区の方が優れていると感じる点をお答えください。（複数回答可）

「街づくり」が最多で3割台半ば、次いで「産業・地域振興」が2割台半ば、「行政経営」が約2割、「防災・危機管理」が1割台前半と続いている。

「その他」としては、「交通の便」「区民税が安い」があった。



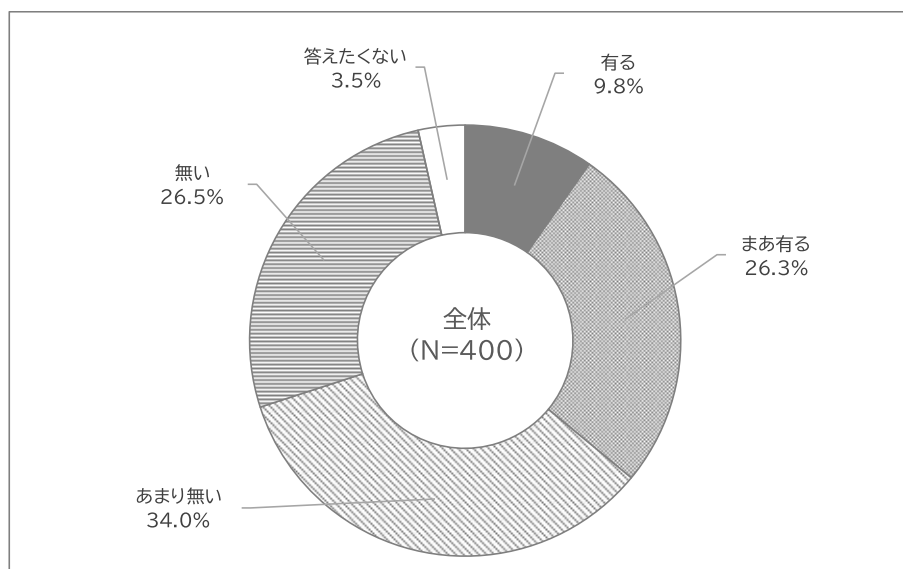
(参考：年代別クロス集計)



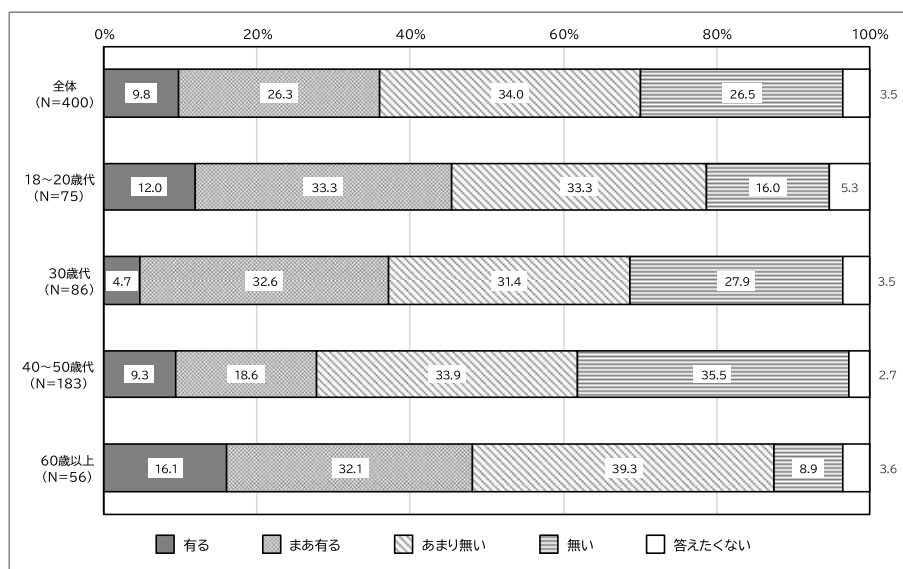


■問 20. あなたは、港区の取組に関心が有りますか。

港区の取組に関心がある（「有る」と「まあ有る」の合計）は3割台後半、港区の取組に関心がない（「あまり無い」と「無い」の合計）は約6割であった。

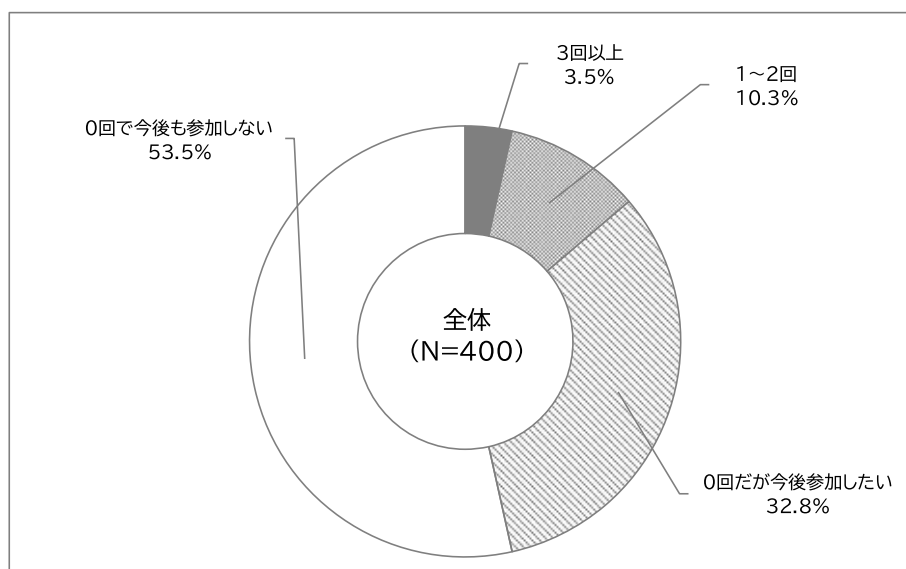


（参考：年代別クロス集計）

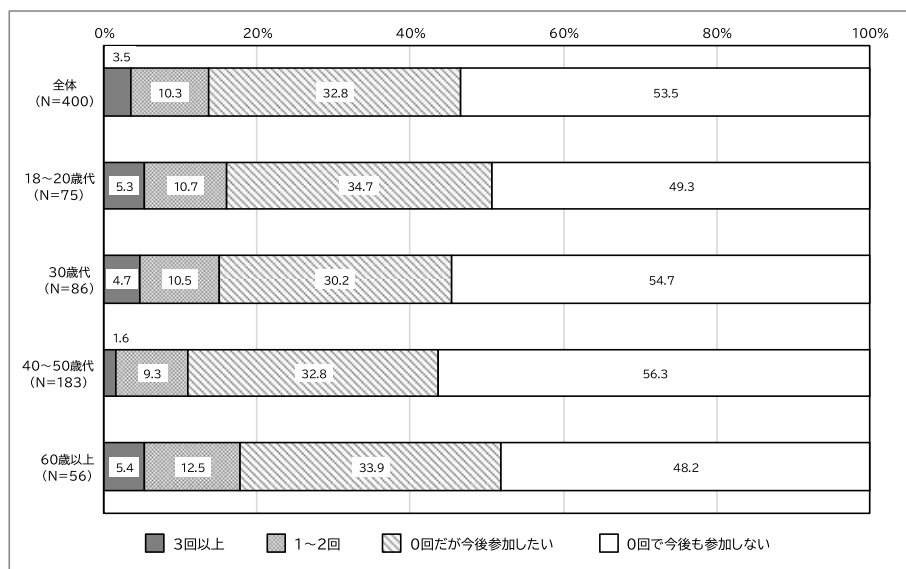


■問 21. 過去1年の間で港区が主催する事業やイベントに参加したことがありますか。

「3回以上」は1割未満、「1～2回」は約1割で、「0回だが今後参加したい」とするものは3割台前半であった。一方、「0回で今後も参加しない」は5割台半ばと過半数を占めている。

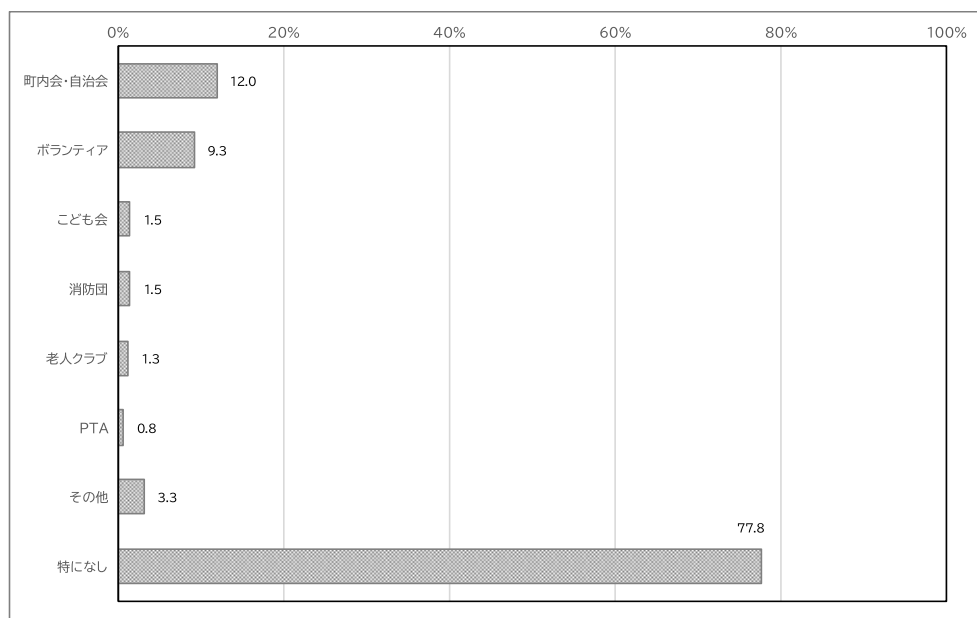


(参考：年代別クロス集計)



■問 22. あなたは、次のような地域活動やサークル活動などを行っていますか。  
(複数回答可)

「町内会・自治会」が最多で1割台前半、「ボランティア」は1割未満となっている。一方「特になし」は7割台後半となっている。



(参考：年代別クロス集計)

